

2013年度 後期

学生による授業アンケート結果

教育開発推進委員会

目次	【概要】
1. 全体の結果	* 2013年度の授業評価アンケートは、専任教員2～4科目、非常勤講師1科目とし、先生方が選んだ科目で実施しました。
2. 科目分野別の結果	* アンケート対象授業は、受講者数が専任教員は5名以上、非常勤講師は10名以上の授業です。
3. 授業形態別の結果	* 評価は5段階評価です。(1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う)
4. 受講者数別の結果	* 評価は5段階評価です。(1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う)
5. 先生のアンケートから	* 後期は1月20日～2月3日に実施しました(都合によりこの期間外に実施した科目もあります)。

1 全体の結果

分野(基礎科目や基幹科目など)、授業形態(講義系や演習系、実習など)、人数などが異なる授業全ての科目を集計した平均値です。

実施科目数 98科目

質問項目別に見る平均

【表1】

設 問	平均
学生自己評価について	4.04
1.私は、私語・飲食・携帯電話の使用を慎み適切な態度で授業に出席した	4.15
2.私は、この授業に対し意欲的に取り組んだ(熱心な授業態度、予習・復習をするなど)	3.92
授業について	4.19
3.授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	4.24
4.成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	4.18
5.授業時間はだいたいにおいて守られていた(開始時間・終了時間)	4.36
6.教員の声や言葉は聞き取りやすかった	4.26
7.授業で使用した教材(教科書・資料等)は授業内容の理解に役立った	4.23
8.教員の板書やパワーポイント等は分かりやすかった	3.95
9.この授業の進め方及び内容は適切であった	4.15
10.課題の内容は学習に役立った	4.14
11.教員の授業に対する取り組みに熱意が感じられた	4.38
12.教員は学習に適した環境で受講できるよう努めていた(私語・居眠り・学生の出入り・携帯電話への注意など)	4.10
13.学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	4.19
14.教員は学生の質問や発言に対し適切に対応した(授業外も含む)	4.28
15.この授業がテーマとする分野への問題意識や関心が深まった	4.15
16.この授業に満足し、後輩や友人に勧めたいと思う	4.10
環境について	4.37
17.教室の広さは適切であった	4.39
18.机や椅子の配置は適切であった	4.34
19.廊下や隣接する教室など、教室外からの騒音は特に気にならなかった	4.39

2 科目分野別の結果

*「基礎科目」「基幹科目」「応用科目」と分かれている授業科目の中で、「基礎科目」をさらに「文献」「情報」「外国語」等

①実施科目

【表2-1】

科目分野	実施数	実施科目
基礎科目: 文献講読演習	7	文献講読演習Ⅱb/文献講読演習Ⅰb/文献講読演習Ⅰb/文献講読演習Ⅰb/文献講読演習Ⅱb/文献講読演習Ⅱb(英情)/情報処理演習
基礎科目: 日本語科目	1	日本語表現法Ⅰ
基礎科目: 英語科目	3	ビジネスコミュニケーション実践論/English SeminarⅡ/English CommunicationⅡ
基礎科目: 外国語(英語以外)	4	中国語Ⅰ/ドイツ語Ⅱ/中国語Ⅰ/フランス語Ⅱ
基礎科目: 情報文献	0	
基礎科目: 現代教養	8	哲学/漢文学/日本国憲法/生命科学論/キリスト教入門 /キリスト教入門/キリスト教人間論/キリスト教人間論
基幹科目	62	地誌学/日本語の構造Ⅱ/比較文化(交流史)研究序説/日本語表現法Ⅱ/現代社会と福祉Ⅰ/社会保障Ⅱ/精神科リハビリテーション学/介護の基本Ⅰ/子ども・家庭ソーシャルワーク論/長崎の福祉行政/児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度/画像処理演習/画像処理演習/プログラミング演習Ⅱ/日本の思想/日本文化史/コミュニケーション研究Ⅱ/異文化間コミュニケーション論/地域文化(国際)研究序説/乳児保育/精神保健福祉援助技術各論/子どもと環境/算数科教育法/乳児保育Ⅱ/医学一般Ⅱ/古文書学/子どもの保健Ⅰ/子どもの保健Ⅱ/医療心理学/子どものことば/マーケティング論Ⅱ/認知症の理解Ⅰ/精神保健福祉論/ケアマネジメント論/精神保健/保育課程論/国語科教育法/保育・教育システム論/子ども・家庭ソーシャルワーク論/児童教育法/音楽基礎理論Ⅱ/子どもと宗教/子どもと宗教/学習心理学/カウンセリング論Ⅱ/日本古典文学研究Ⅰ/生活支援技術B/基礎介護実習指導/相談援助/心理検査法Ⅱ/リズムⅡ(火-1)/障害児保育/子どもの心理臨床と相談支援/総合演習/子どもの食と栄養/幼稚園教育実習指導Ⅰ/社会調査法演習/臨床心理演習/書道/体育あそびの研究/心理学実験Ⅰ(基礎)/子どもの音楽Ⅰ
資格・免許に関する科目	9	教育原理/外国史/モンテッソーリ教具入門/教育方法論/読書と豊かな人間性/保育実習指導Ⅱ/保育実習指導Ⅰ/幼稚園教育実習指導Ⅰ/保育実習指導Ⅱ

②質問項目別に見る平均

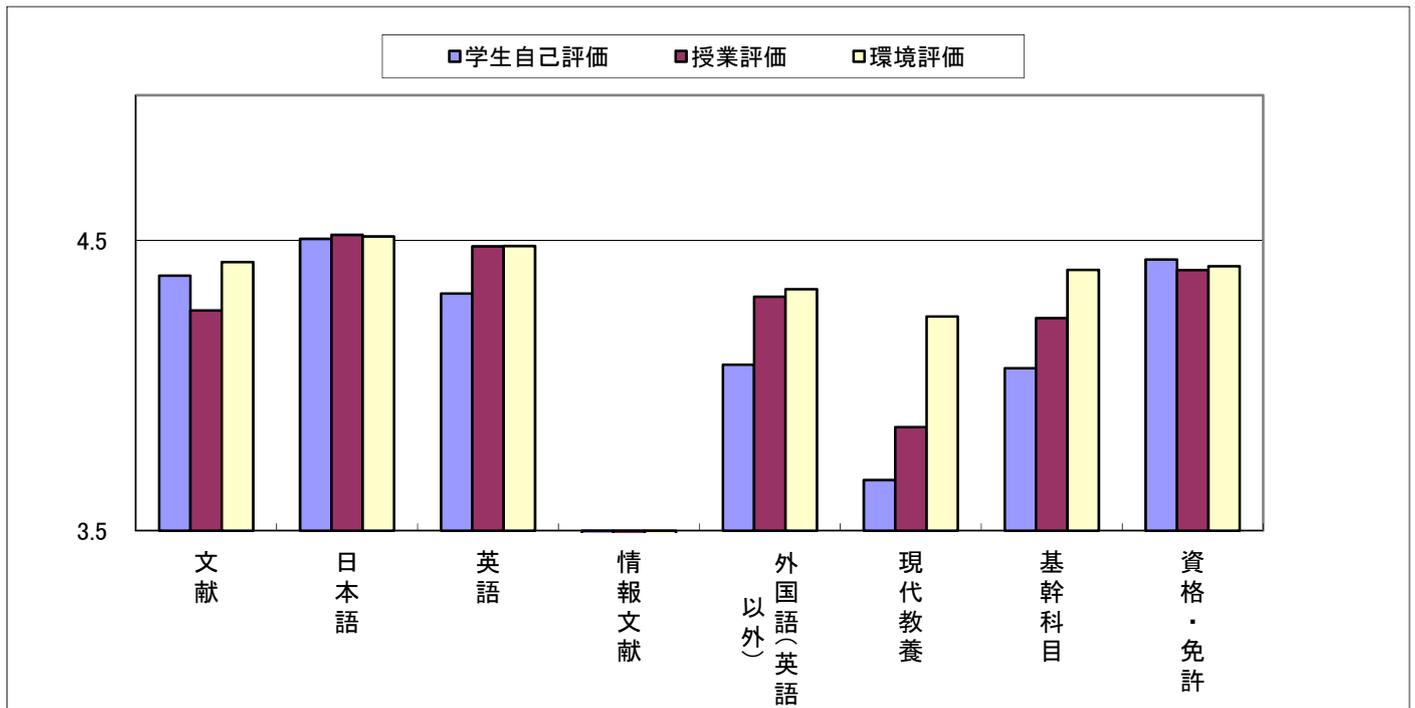
【表2-2】

設問内容※	平均	基礎科目					基幹科目	資格免許
		文献	日本語	英語	外国語	現代教養		
学生自己評価	平均	4.38	4.51	4.32	4.07	3.67	4.06	4.43
1.適切な態度		4.53	4.57	4.43	4.22	3.88	4.15	4.57
2.意欲的な取り組み		4.23	4.44	4.20	3.92	3.47	3.96	4.30
授業への評価	平均	4.26	4.52	4.48	4.31	3.86	4.23	4.40
3.シラバスの授業への反映		4.18	4.44	4.47	4.21	3.98	4.27	4.49
4.成績評価基準の明示		4.14	4.48	4.33	4.22	3.87	4.22	4.39
5.授業時間を守る		4.45	4.50	4.67	4.44	4.23	4.36	4.47
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.55	4.67	4.55	4.55	4.12	4.24	4.41
7.教材が理解に役立った		4.32	4.54	4.42	4.49	3.88	4.27	4.46
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		3.82	4.37	4.49	4.01	3.47	4.04	3.81
9.進め方と内容の適切さ		4.23	4.46	4.48	4.19	3.84	4.19	4.35
10.課題の内容は学習に役立った		4.28	4.56	4.45	4.19	3.53	4.22	4.40
11.教員の熱意が感じられた		4.36	4.55	4.70	4.50	4.18	4.39	4.56
12.適切な学習環境の保持		4.26	4.58	4.53	4.27	3.83	4.10	4.44
13.学生の努力の公正な評価		4.26	4.56	4.50	4.25	3.90	4.22	4.39
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.44	4.52	4.67	4.36	3.94	4.31	4.54
15.問題意識・関心が深まり		4.21		4.17	4.25	3.67	4.22	4.47
16.後輩や友人に勧めたい		4.12		4.28	4.34	3.55	4.18	4.38
環境への評価	平均	4.43	4.51	4.48	4.33	4.24	4.40	4.41
17.教室の広さの適切さ		4.43	4.54	4.55	4.34	4.26	4.40	4.51
18.机・椅子の配置の適切さ		4.49	4.55	4.47	4.34	4.14	4.37	4.44
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.36	4.45	4.42	4.32	4.31	4.42	4.28

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③各分野の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ1】



*「日本語」と「資格・免許」は学生の自己評価が特に高いことが伺えます。

3 授業形態別の結果

- * 授業の形態を「講義系授業」「演習系授業」で分類し、平均値を出したものです。
- * 授業形態は担当教員の届出によります。

①実施科目

【表3-1】

授業形態	実施数	実施科目
講義系	62	文献講読演習Ⅱb/日本語表現法Ⅰ/中国語Ⅰ/ドイツ語Ⅱ/中国語Ⅰ/哲学/漢文学/日本国憲法/生命科学論/キリスト教入門 /キリスト教入門/キリスト教人間論/キリスト教人間論/地誌学/日本語の構造Ⅱ/比較文化(交流史)研究序説/日本語表現法Ⅱ/現代社会と福祉Ⅰ/社会保障Ⅱ/精神科リハビリテーション学介護の基本Ⅰ/子ども・家庭ソーシャルワーク論/長崎の福祉行政/児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度/画像処理演習/画像処理演習/プログラミング演習Ⅱ/日本の思想/日本文化史/コミュニケーション研究Ⅱ/異文化間コミュニケーション論/地域文化(国際)研究序説/乳児保育/精神保健福祉援助技術各論/子どもと環境/算数科教育法/乳児保育Ⅱ/医学一般Ⅱ/古文書学/子どもの保健Ⅰ/子どもの保健Ⅱ/医療心理学/子どものことば/マーケティング論Ⅱ/認知症の理解Ⅰ/精神保健福祉論/ケアマネジメント論/精神保健/保育課程論/国語科教育法/保育・教育システム論/子ども・家庭ソーシャルワーク論/児童教育法/音楽基礎理論Ⅱ/子どもと宗教/子どもと宗教/学習心理学/カウンセリング論Ⅱ/教育原理/外国史/モンテッソーリ教具入門/教育方法論/読書と豊かな人間性/保育実習指導Ⅱ/保育実習指導Ⅰ
演習系	24	文献講読演習Ⅰb/文献講読演習Ⅰb/文献講読演習Ⅰb/文献講読演習Ⅱb/文献講読演習Ⅱb(英情)/情報処理演習/ビジネスコミュニケーション実践論/English SeminarⅡ/English CommunicationⅡ/日本古典文学研究Ⅰ/生活支援技術B/基礎介護実習指導/相談援助/心理検査法Ⅱ/リトミックⅡ(火-1)/障害児保育/子どもの心理臨床と相談支援/総合演習/子どもの食と栄養/幼稚園教育実習指導Ⅰ/社会調査法演習/臨床心理演習/専攻演習Ⅱ/専攻演習Ⅰ
実技系	4	フランス語Ⅱ/書道/体育あそびの研究/心理学実験Ⅰ(基礎)
実習系	3	子どもの音楽Ⅰ/幼稚園教育実習指導Ⅰ/保育実習指導Ⅱ
専攻演習系	2	専攻演習Ⅰ/専攻演習Ⅰ

②質問項目別に見る平均

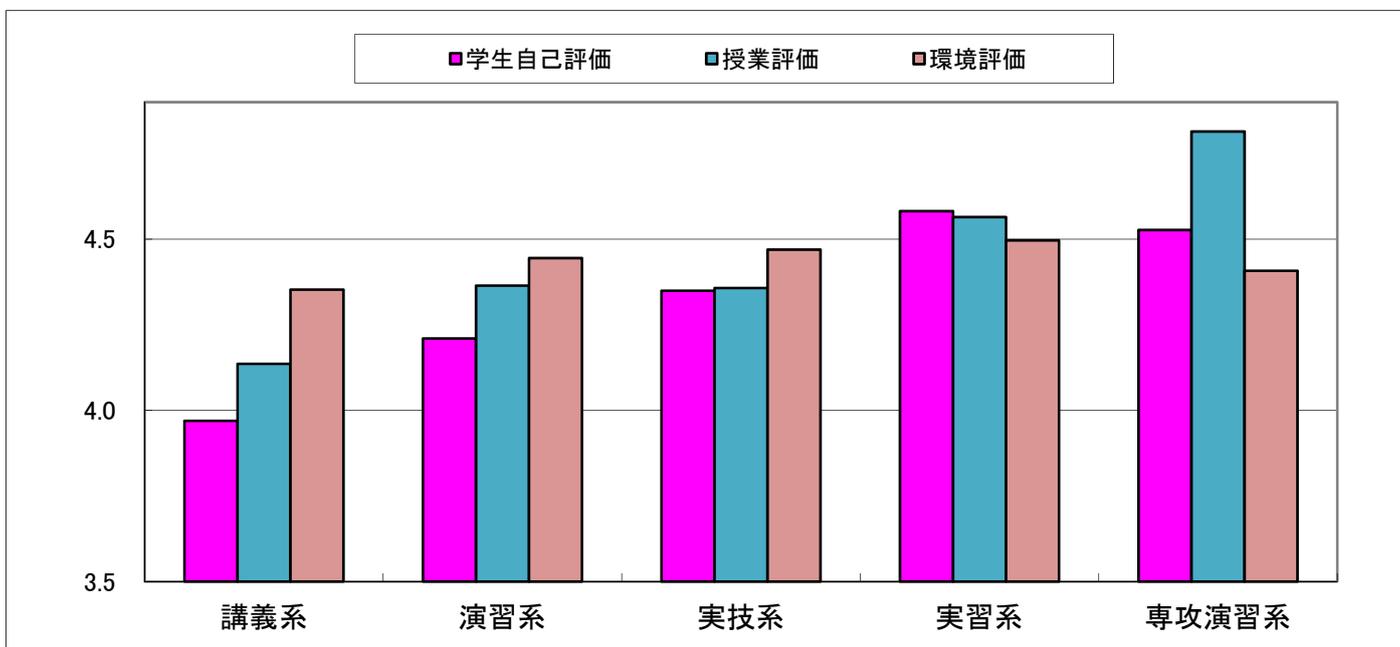
【表3-2】

設問内容※		講義系	演習系	実技系	実習系	専攻演習系
学生自己評価	平均	3.97	4.21	4.35	4.58	4.53
1.適切な態度		4.09	4.29	4.51	4.63	4.63
2.意欲的な取り組み		3.85	4.13	4.19	4.53	4.42
授業への評価	平均	4.14	4.36	4.36	4.56	4.81
3.シラバスの授業への反映		4.19	4.38	4.43	4.65	4.74
4.成績評価基準の明示		4.14	4.32	4.27	4.57	4.61
5.授業時間を守る		4.32	4.47	4.52	4.20	4.79
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.21	4.36	4.52	4.67	4.89
7.教材が理解に役立った		4.18	4.39	4.30	4.55	4.84
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		3.89	4.15	4.07	4.23	4.74
9.進め方と内容の適切さ		4.10	4.34	4.27	4.57	4.84
10.課題の内容は学習に役立った		4.04	4.41	4.40	4.62	4.84
11.教員の熱意が感じられた		4.33	4.49	4.60	4.74	4.89
12.適切な学習環境の保持		4.04	4.27	4.34	4.60	4.89
13.学生の努力の公正な評価		4.14	4.36	4.31	4.55	4.84
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.22	4.47	4.37	4.66	4.89
15.問題意識・関心が深まり		4.08	4.36	4.30	4.62	4.79
16.後輩や友人に勧めたい		4.02	4.35	4.28	4.65	4.79
環境への評価	平均	4.35	4.44	4.47	4.50	4.41
17.教室の広さの適切さ		4.36	4.47	4.59	4.65	4.50
18.机・椅子の配置の適切さ		4.31	4.46	4.44	4.47	4.39
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.39	4.41	4.38	4.37	4.33

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③各授業形態の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ3】 【グラフ3】 【グラフ3】



*「実技系」は全ての評価領域において高い評価となっています。

4 受講者数別での結果

①実施科目

【表4-1】

受講者数	実施数	実施科目
20名以下	31	文献講読演習Ⅱb/文献講読演習Ⅰb/文献講読演習Ⅰb/文献講読演習Ⅰb/文献講読演習Ⅱb/文献講読演習Ⅱb(英情)/情報処理演習/ビジネスコミュニケーション実践論/English SeminarⅡ/ドイツ語Ⅱ/フランス語Ⅱ/介護の基本Ⅰ/プログラミング演習Ⅱ/子どもと環境/乳児保育Ⅱ/日本古典文学研究Ⅰ/生活支援技術B/障害児保育/総合演習/幼稚園教育実習指導Ⅰ/臨床心理演習/書道/モンテッソーリ教具入門/読書と豊かな人間性/保育実習指導Ⅱ/保育実習指導Ⅰ/保育実習指導Ⅱ/専攻演習Ⅱ/専攻演習Ⅰ/専攻演習Ⅰ/専攻演習Ⅰ
21名以上50名以下	37	English CommunicationⅡ/中国語Ⅰ/中国語Ⅰ/哲学/漢文学/生命科学論/キリスト教人間論/地誌学/日本語の構造Ⅱ/日本語表現法Ⅱ/精神科リハビリテーション学/長崎の福祉行政/画像処理演習/画像処理演習/日本の思想/日本文化史/コミュニケーション研究Ⅱ/異文化間コミュニケーション論/精神保健福祉援助技術各論/算数科教育法/医療心理学/マーケティング論Ⅱ/認知症の理解Ⅰ/精神保健福祉論/ケアマネジメント論/国語科教育法/子どもと宗教/子どもと宗教/カウンセリング論Ⅱ/基礎介護実習指導/リズムⅡ(火-1)/社会調査法演習/子どもの音楽Ⅰ/教育原理/外国史/教育方法論/幼稚園教育実習指導Ⅰ
51名以上100名以下	19	日本語表現法Ⅰ/比較文化(交流史)研究序説/現代社会と福祉Ⅰ/社会保障Ⅱ/子ども・家庭ソーシャルワーク論/地域文化(国際)研究序説/乳児保育/医学一般Ⅱ/古文書学/子どもの保健Ⅱ/精神保健/保育・教育システム論/子ども・家庭ソーシャルワーク論/学習心理学/相談援助/心理検査法Ⅱ/子どもの心理臨床と相談支援/体育あそびの研究/心理学実験Ⅰ(基礎)/
101名以上	11	日本国憲法/キリスト教入門 /キリスト教入門/キリスト教人間論/児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度/子どもの保健Ⅰ/子どものことば/保育課程論/児童教育法/音楽基礎理論Ⅱ/子どもの食と栄養

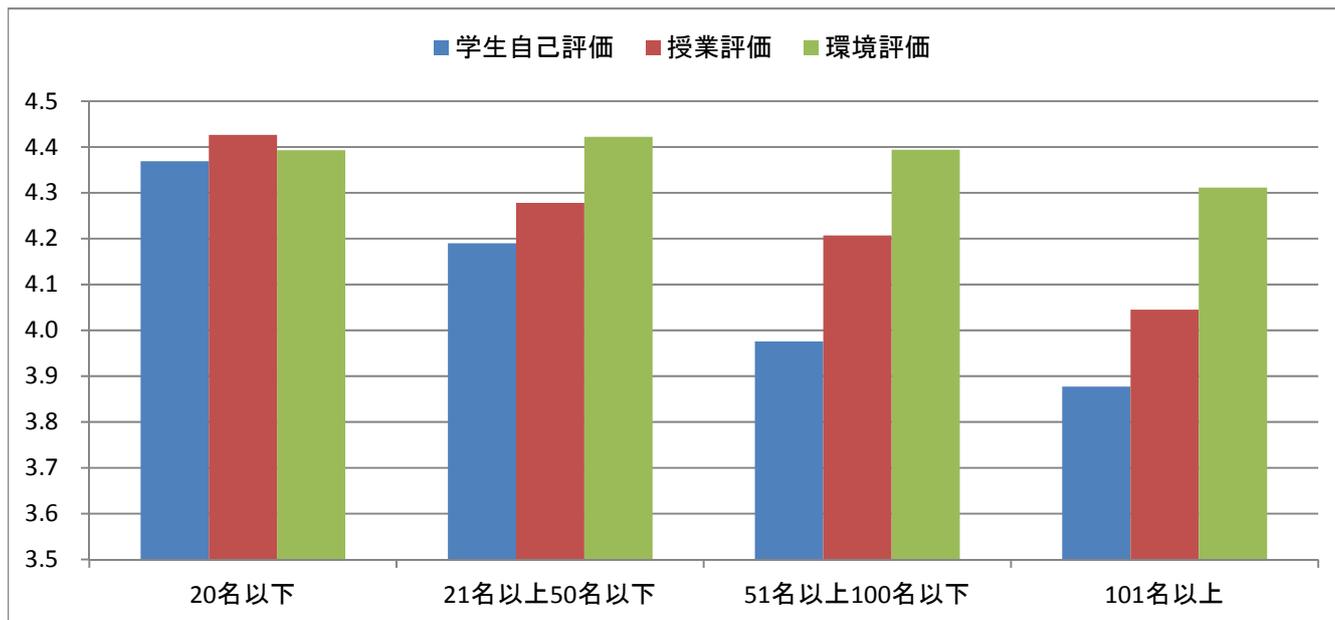
②質問項目別に見る平均

【表4-2】

設問内容※		20名以下	21名以上50名以下	51名以上100名以下	101名以上
学生自己評価	平均	4.37	4.19	3.98	3.88
1.適切な態度		4.48	4.30	4.07	4.02
2.意欲的な取り組み		4.26	4.08	3.88	3.73
授業への評価	平均	4.43	4.28	4.21	4.04
3.シラバスの授業への反映		4.40	4.32	4.21	4.17
4.成績評価基準の明示		4.31	4.29	4.20	4.04
5.授業時間を守る		4.44	4.36	4.35	4.34
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.52	4.39	4.23	4.09
7.教材が理解に役立った		4.47	4.30	4.28	4.06
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		4.14	4.05	4.02	3.73
9.進め方と内容の適切さ		4.39	4.25	4.16	4.00
10.課題の内容は学習に役立った		4.44	4.22	4.21	3.91
11.教員の熱意が感じられた		4.57	4.41	4.42	4.26
12.適切な学習環境の保持		4.40	4.20	4.05	3.98
13.学生の努力の公正な評価		4.43	4.29	4.19	4.04
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.57	4.35	4.27	4.15
15.問題意識・関心が深まり		4.46	4.23	4.17	3.97
16.後輩や友人に勧めたい		4.43	4.22	4.14	3.88
環境への評価	平均	4.39	4.42	4.39	4.31
17.教室の広さの適切さ		4.48	4.45	4.39	4.31
18.机・椅子の配置の適切さ		4.44	4.44	4.36	4.22
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.26	4.37	4.43	4.41

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③受講者数別の評価項目ごとの平均を比較したグラフ



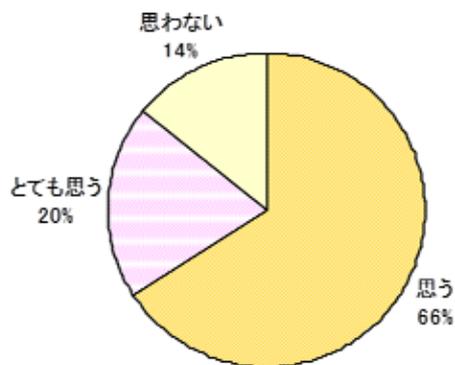
5 先生のアナケートから

* 学生の皆さんにご協力いただいた授業アンケート結果を受けて、先生方へ授業改善に対するフィードバックアンケートを実施しました。回答者数及びアンケート結果は次のとおりです。

回答者数 専任教員 19名(回収率 35%) 非常勤講師 15名(回収率 37%)

アンケート結果

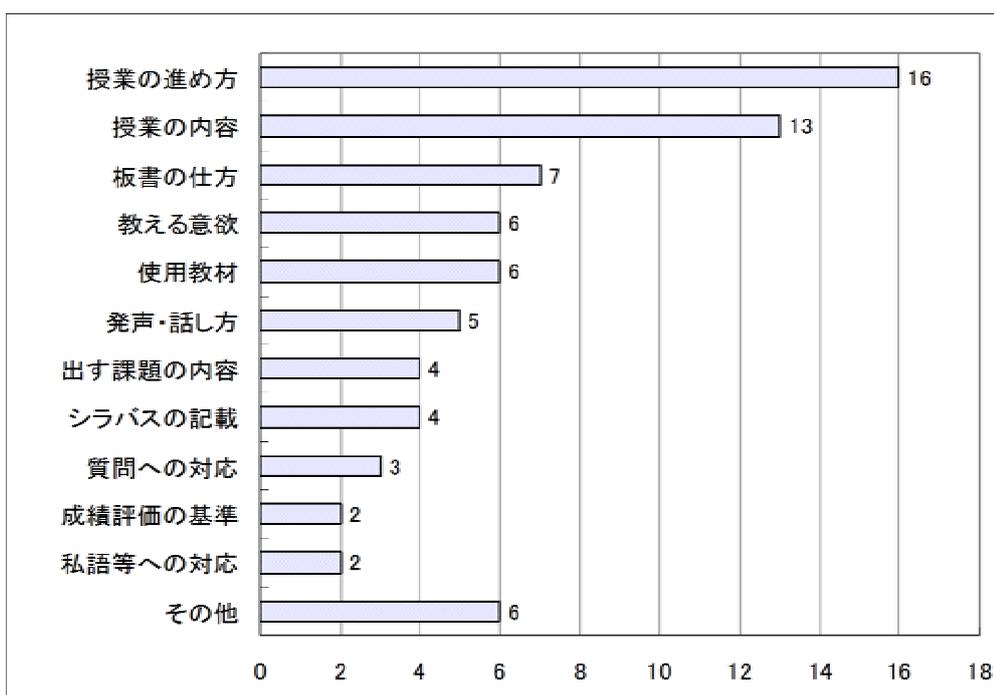
問1 授業アンケートが今後の授業改善につながると思うか？



	専任教員	非常勤講師
とても思う	7	3
思う	21	17
思わない	4	1
全く思わない	1	0

問1で「とても思う」「思う」と回答した方対象

問2 具体的にどのような点を改善しようと思うか？(複数回答可)



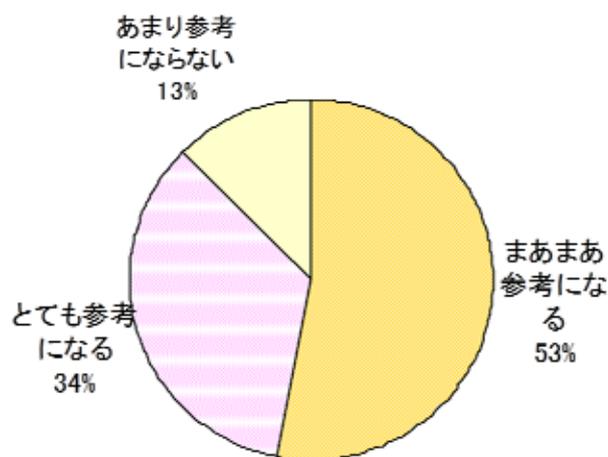
その他の改善点として「環境の改善」「学生への関わり方」「時間配分など」「学生が授業を受けて、どのよう
 感じているかがわかる」「Teach students to give their opinions and to offer answers freely」という意見
 がありました。

問1で「思わない」「全く思わない」と回答した方対象

問3 授業アンケートが改善につながらないと思う理由は？(複数回答可)

- 自分の努力ではどうにもならない事情がある
- 学生が真剣に取り組んでいるように思えない。
- 学生に評価能力がない。
- 改善の手立てがわからない

問4 自由記述アンケートは授業改善の参考になるか？



	専任教員	非常勤講師
とても参考になる	8	3
まあまあ参考になる	7	9
あまり参考にならない	3	1
全く参考にならない	0	0

無回答 4名

ほとんどの先生が『参考になる』と回答しています。特にどのような点が参考になるのかというと・・・。
 「体験して感じたことを記入してもらっているので、今後の授業の展開するにあたり参考にしたい」
 「本人が全体的に感じてことを、そのまま書いてくれる」などの意見がありました。

『参考にならない』と回答した先生の意見からは、「意欲的に取り組んだ、または、好意的な学生は、自由記述も記入してくれているようだが、不満に思っている学生は、何が不満なのかを記載してくれないため、改善にはつながり難いと思う。」などの理由があげられていました。